

## Ⅶ 障害児調査

### 1 障害児調査の結果のまとめ

#### (1) 回答者の属性

同居家族は、「母」が最も多くなっています。

主に子育てを行っている人は、「父母ともに」が最も多くなっています。子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際に祖父母等の親族にみてもらえる」が最も多くなっています。

子どもと同居している家族の1週間の平均就業日数は、父は「週5日以上」、母は「就業していない」が最も多くなっています。1日の平均就業時間は、父は「8時間以上」、就業している母は「4～8時間未満」が最も多くなっています。

子どもの年齢は、「3～6歳」「7～12歳」の順に多くなっています。障害者手帳は、「持っていない（手帳の存在は知っている）」が最も多くなっています。他にある障害は「発達障害」が最も多くなっています。

かかりつけ医の有無は、「持っている」が85.5%、「持っていない」が12.9%となっています。かかりつけ医の無い理由は、「必要と思うが見つけれない」が最も多くなっています。

医療処置の有無は、「特にない」が最も多くなっています。医療保険サービスの利用状況は、「特にない」が最も多くなっています。

お子さんのことで現在困っていることは、「育児や教育のこと」が最も多くなっています。

#### (2) 就学前のお子さんについて

幼稚園・保育園・認定こども園の通園頻度は、「5日/週」が最も多くなっています。また、幼稚園・保育園・認定こども園のことで困ったことは、「発達・発育面でほかの子どもたちとのギャップを感じる」が最も多くなっています。

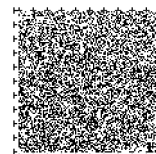
#### (3) 就学中のお子さんについて

放課後や休日の過ごしかたは、「放課後等デイサービス」が最も多くなっています。また、学校のことで困ったことは、「発達・発育面でほかの子どもたちとのギャップを感じる」が最も多くなっています。

#### (4) 福祉サービスの利用や今後の利用

「現在利用しているサービス」「今後利用したいサービス」とも、「放課後等デイサービス」が最も多くなっています。

放課後等デイサービス等の児童通所を必要とする理由は、「対人関係等コミュニケーションに関すること」が最も多くなっています。



## (5) 福祉に関する相談や情報

---

福祉に関する情報の入手手段は、「友人・知人」「インターネット」「学校・幼稚園・保育園・認定こども園」の順に多くなっています。

よく利用する相談窓口は、「西部子ども家庭支援センター」が最も多くなっています。

相談対応の満足度は、「おおむね満足している」が最も多くなっています。相談に不満を感じる理由は、「十分な助言が得られない」が最も多くなっています。

## (6) 外出の状況

---

普段利用する交通手段は、「電車・地下鉄」「徒歩」の順に多くなっています。

外出時にけがをしたことは、「ない」が86.7%、「ある」が9.4%となっています。けがをした理由は、「歩道ですべて」が最も多くなっています。

外出時に危険を感じたことは、「自転車の通行」「自動車・バイクの通行」の順に多くなっています。

自宅内で医療機関を受診するほどのけがをした経験は、「ない」が87.5%、「ある」が6.7%となっています。場所は、「居間」「階段」の順に多くなっています。

まちのバリアフリーについての満足度は、《満足》（「とても満足している」と「おおむね満足している」の合計）が44.0%、《不満》（「やや不満である」と「とても不満である」の合計）が48.6%となっています。

## (7) 障害者の権利

---

障害者への差別を感じることは、《感じる》（「よく感じる」と「時々感じる」の合計）が40.0%、《感じない》（「あまり感じない」と「全く感じない」の合計）が56.9%となっています。

## (8) 防災の意識・対策

---

防災の手引きを知っているかについては、「知らない」が78.0%、「知っている」が18.8%となっています。

区の防災対策の認知度は、「安心安全メール」が最も多くなっています。

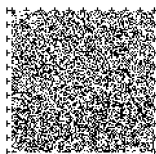
日常的な防災意識と防災対策の実施状況は、「防災について多少は意識しているが、具体的な対策を行っていない」が最も多くなっています。また、具体的に行っている準備は、「持出し物品などの準備をしている」が最も多くなっています。

災害時を想定した対応方法に対する安心感は、「やや不安である」が最も多くなっています。

## (9) 豊島区の今後のありかたについて

---

取り組みで重要だと思うことは、「障害者や難病患者への理解を深めるための啓発・広報活動」「通所施設の整備」が最も多くなっています。



## 2 回答者の属性

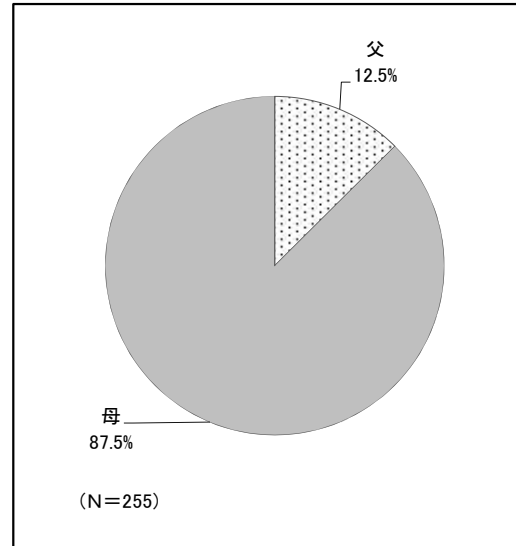
### (1) 調査票記入者

この調査に回答していただくかは、どなたですか。(○は1つ)

調査票記入者は、「母」が87.5%と最も多くなっています。

※以下は回答者0人のため未掲載:

「父母以外の家族」、「その他」、「無回答」

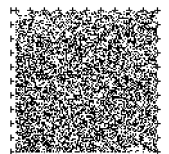
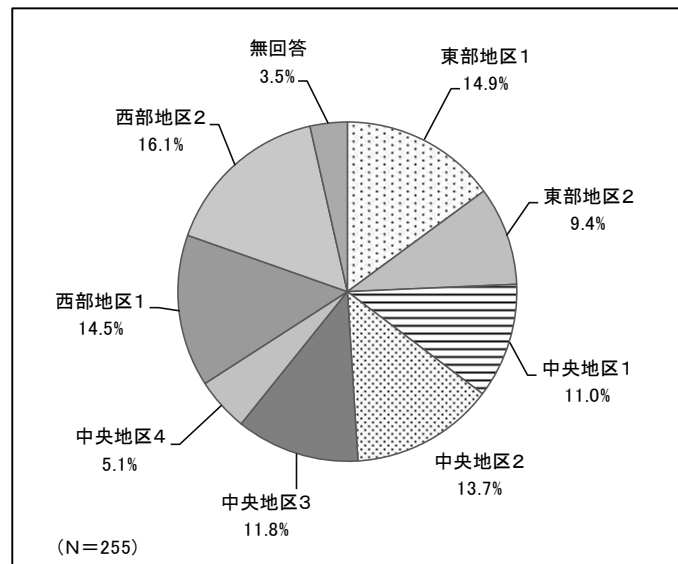


### (2) 居住地区

問1 あなたのお住まいの地区はどこですか。

居住地区は、「西部地区2」が16.1%と最も多くなっています。

(居住地区の内訳は p. 4 を参照)

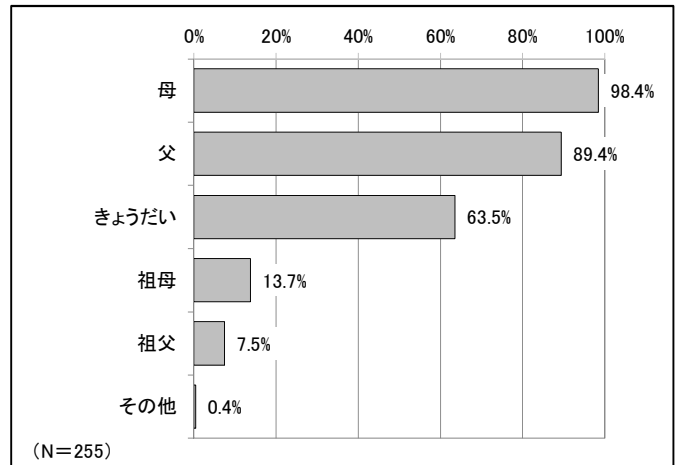


### (3) 同居家族

問2 お子さんはどなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)

同居家族は、「母」が98.4%と最も多くなっています。

※以下は回答者0人のため未掲載:  
「無回答」

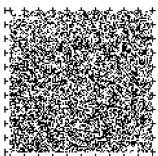
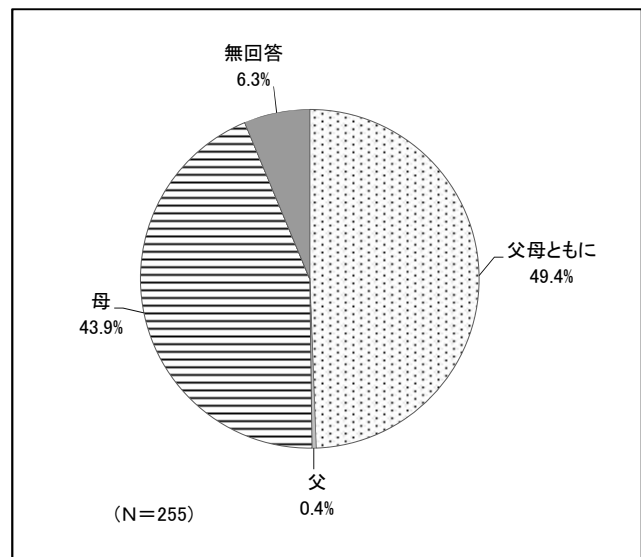


### (4) 主に子育てを行っている人

問3 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っている人はどなたですか。(○は1つ)

主に子育てを行っている人は、「父母ともに」が49.4%と最も多くなっています。

※以下は回答者0人のため未掲載:  
「祖父」、「祖母」、「その他」



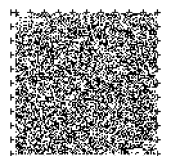
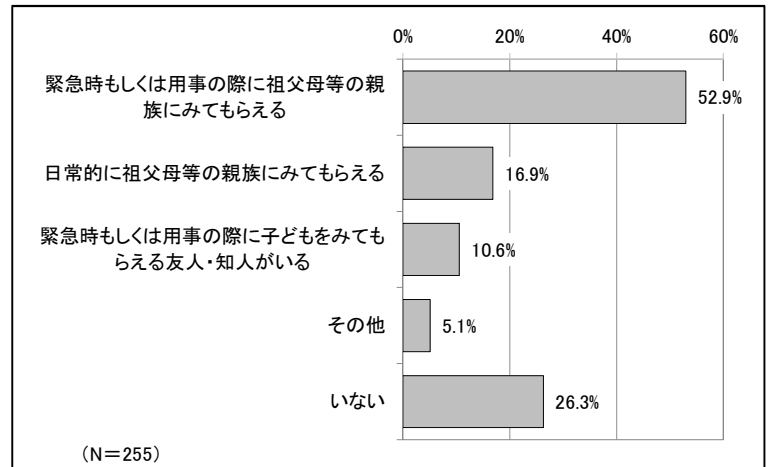
(5) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問4 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際に祖父母等の親族にみてもらえる」が 52.9%と最も多くなっています。

※以下は回答者 0 人のため未掲載:

「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」、「無回答」

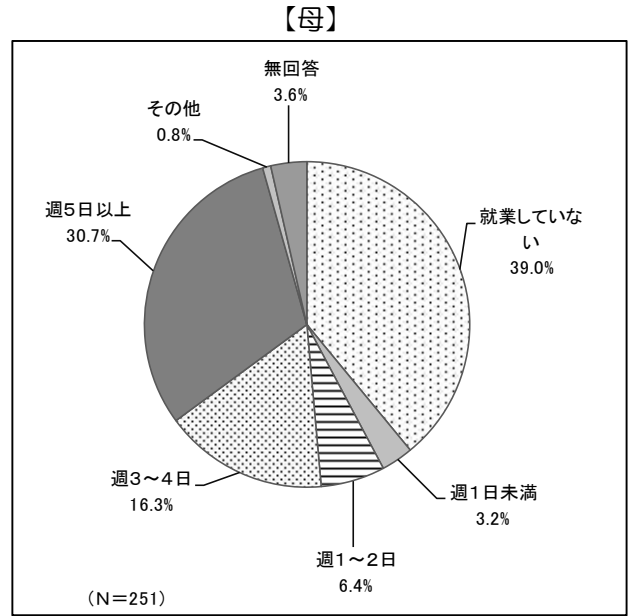
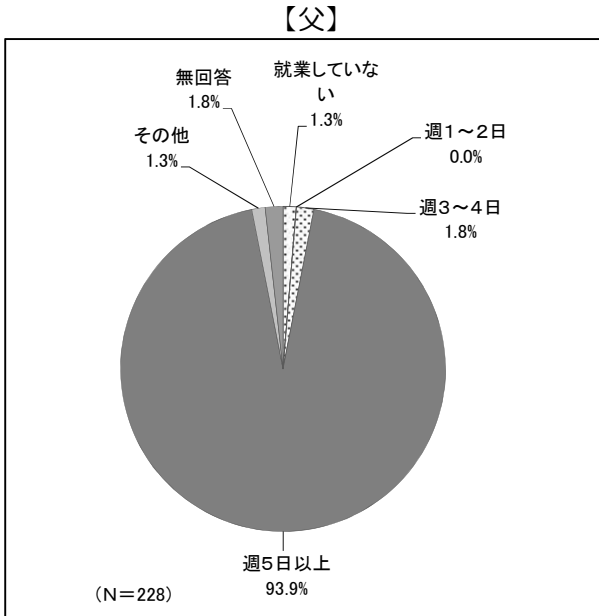


(6) 子どもと同居している家族の就業状況

問5 お子さんと同居のご家族の就業状況についておうかがいします。(あてはまるものすべてに○)

① 1週間の平均就業日数

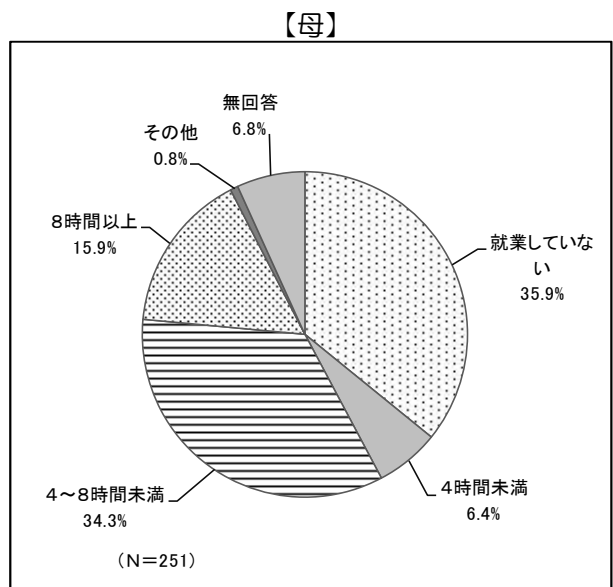
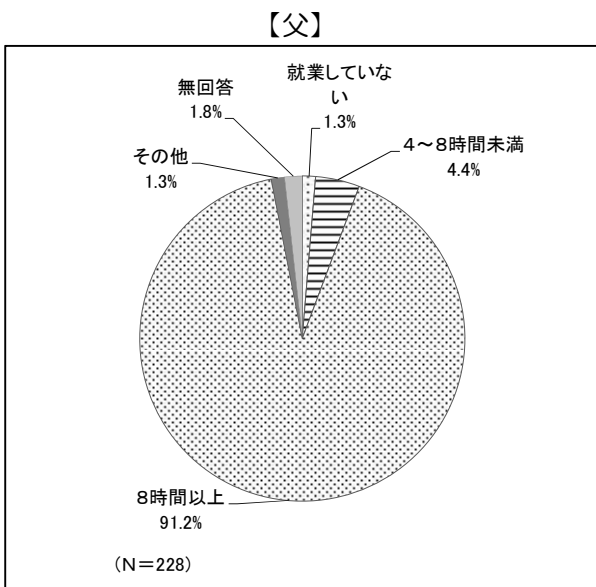
子どもと同居している家族の1週間の平均就業日数は、父は「週5日以上」が93.9%と最も多くなっています。母は「就業していない」が39.0%と最も多く、次いで「週5日以上」が30.7%となっています。



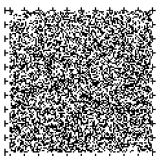
※以下は回答者0人のため未掲載:「週1日未満」

② 1日の平均就業時間

子どもと同居している家族の1日の平均就業時間は、父は「8時間以上」が91.2%、就業している母は「4~8時間未満」が34.3%と最も多くなっています。



※以下は回答者0人のため未掲載:「4時間未満」



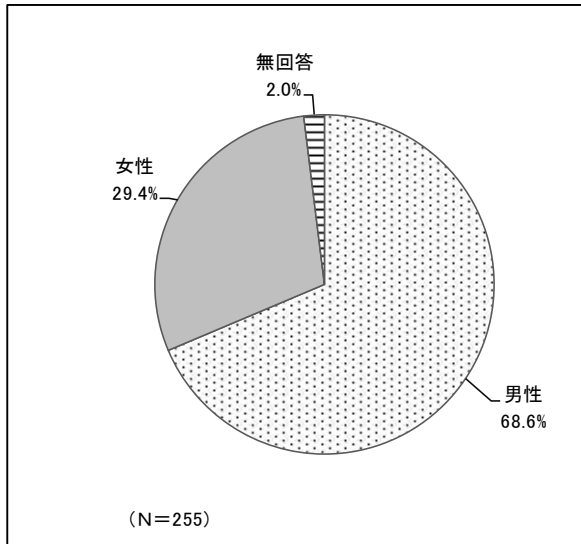
(7) 性別・年齢

問6 お子さんの性別、年齢(ご記入いただいた時点の年齢)を教えてください。

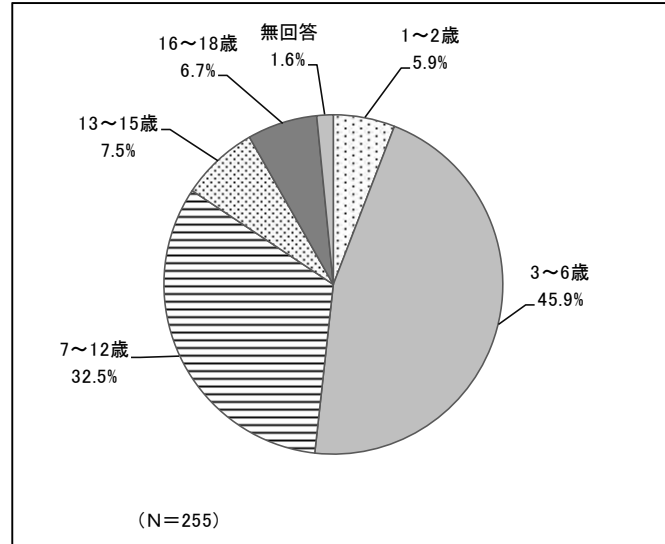
性別は、「男性」が68.6%、「女性」が29.4%となっています。

年齢は、「3～6歳」が45.9%と最も多く、次いで「7～12歳」が32.5%となっています。

<性別>



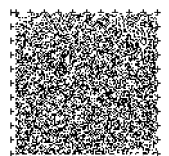
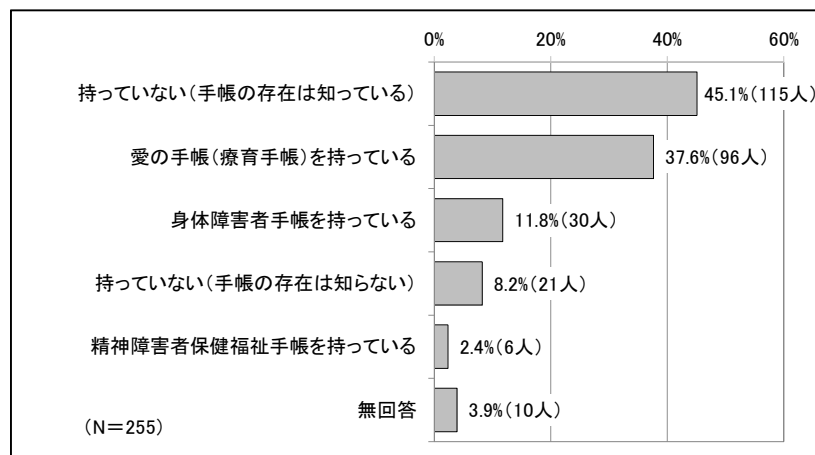
<年齢>



(8) 所有している障害者手帳

問7 お子さんは障害者手帳を持っていますか。(あてはまるものすべてに○)

障害者手帳は、「持っていない(手帳の存在は知っている)」が45.1%と最も多く、次いで「愛の手帳(療育手帳)を持っている」が37.6%となっています。

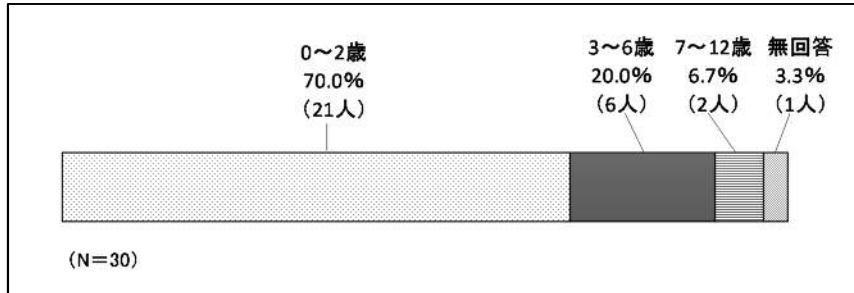


### (9) 障害者手帳を取得した時の年齢

【問7で、身体障害者手帳、愛の手帳(療育手帳)、精神障害者保健福祉手帳を持っているかたのみ】  
問7-1 初めて手帳を取得したのは何歳のときですか。(手帳ごとに○は1つ)

#### ①身体障害者手帳

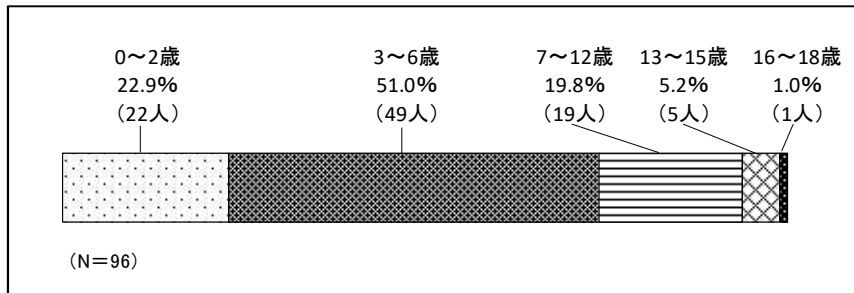
身体障害者手帳を取得した時の年齢は、「0～2歳」が70.0%と最も多くなっています。



※以下は回答者0人のため未掲載：  
「13～15歳」、「16～18歳」

#### ②愛の手帳(療育手帳)

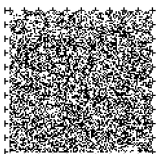
愛の手帳(療育手帳)を取得した時の年齢は、「3～6歳」が51.0%と最も多くなっています。



※以下は回答者0人のため未掲載：  
「無回答」

#### ③精神障害者保健福祉手帳

精神障害者保健福祉手帳を取得した時の年齢は、6人中「3～6歳」が2人、「7～12歳」が4人です。



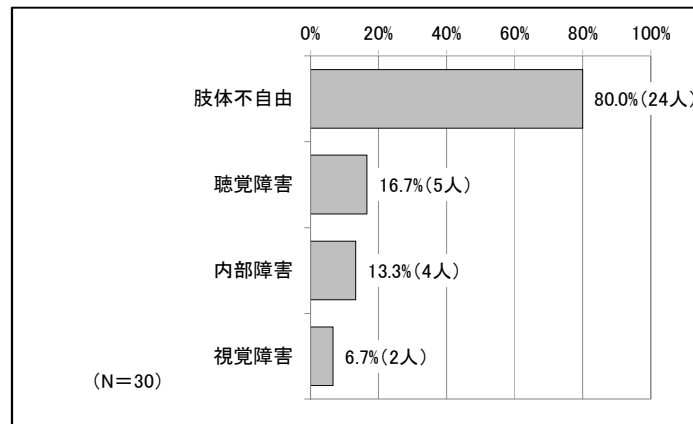


(10) 手帳の等級、程度

【問7で、身体障害者手帳、愛の手帳（療育手帳）、精神障害者保健福祉手帳を持っているかたのみ】  
問7-2 手帳の等級、程度を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

①-1 身体障害者手帳（種別）

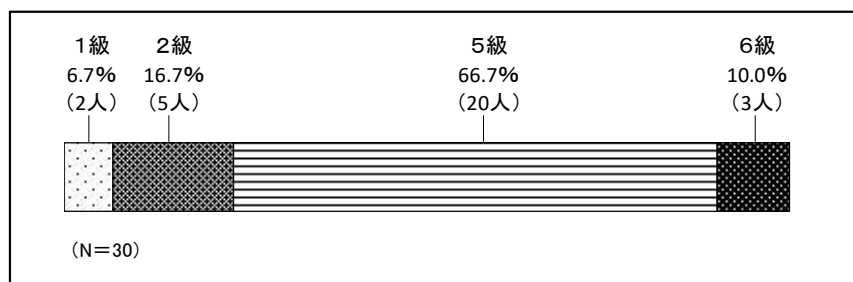
身体障害者手帳の種別は、「肢体不自由」が80.0%で最も多くなっています。



※以下は回答者0人のため未掲載:「平衡機能障害」、「音声・言語・そしゃく機能の障害」、「無回答」

①-2 身体障害者手帳（等級）

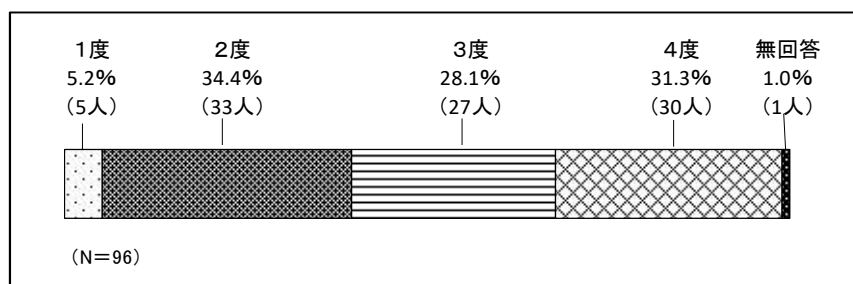
身体障害者手帳の等級は、「5級」が66.7%で最も多くなっています。



※以下は回答者0人のため未掲載:「3級」、「4級」、「無回答」

②愛の手帳（療育手帳）

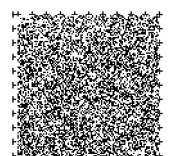
愛の手帳（療育手帳）の度数は、「2度」が34.4%で最も多く、次いで「4度」が31.3%となっています。



※以下は回答者0人のため未掲載:「その他」

③精神障害者保健福祉手帳

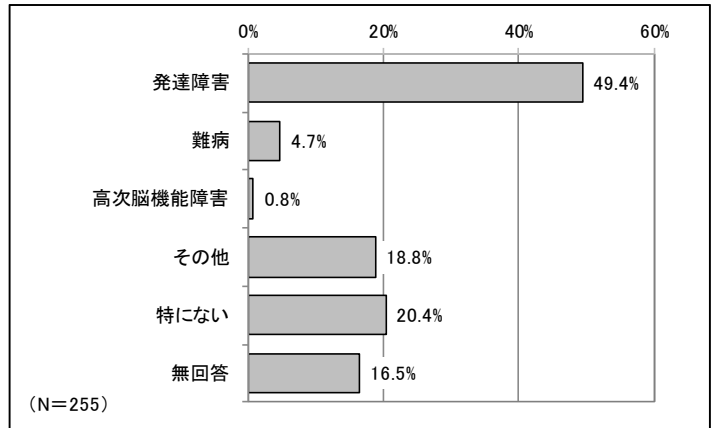
精神障害者保健福祉手帳の等級は、6人中「2級」が4人、「3級」が2人です。



(11) 他にある障害等

問8 他に病気や障害等があれば教えてください。(あてはまるものすべてに○)

他にある病気や障害等は、「発達障害」が49.4%と最も多くなっています。

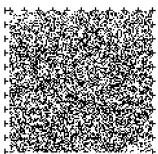
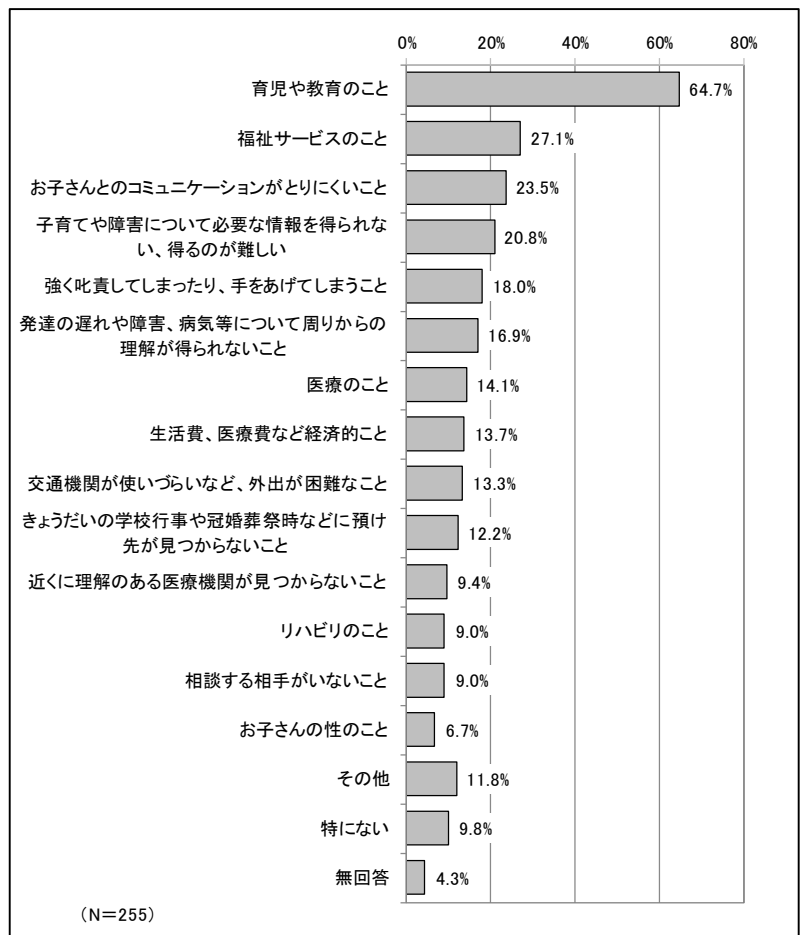


(12) お子さんのことで現在困っていること

問9 お子さんのことで現在困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

お子さんのことで現在困っていることは、「育児や教育のこと」が64.7%と最も多く、次いで「福祉サービスのこと」が27.1%となっています。

「その他」としては、将来のこと・進路という回答がありました。



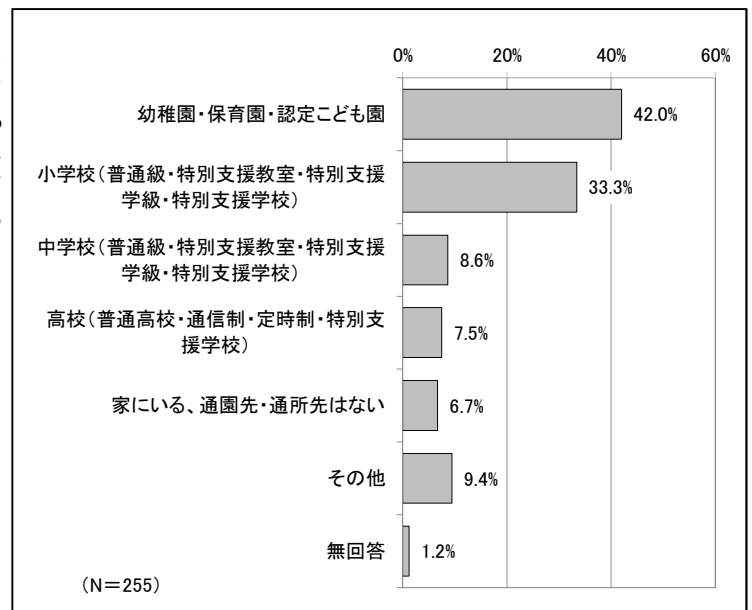
(13) お子さんが平日日中、過ごす場所

問 10 お子さんは、平日の日中、どこで過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

お子さんが平日日中、過ごす場所は、「幼稚園・保育園・認定こども園」が42.0%と最も多く、次いで「小学校（普通級・特別支援教室・特別支援学級・特別支援学校）」が33.3%となっています。

※以下は回答者0人のため未掲載:

「入院中」

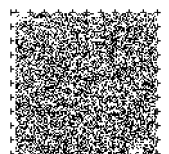


【(参考) 内訳】

問 10 の回答に際し、1～7の番号に○をつけただけで、細かな内訳に○をしなかったかたが半数以上いました(例えば「小学校」に○をつけただけで、「普通級」、「特別支援教室」などを選ばなかったかた)。したがって、ここでの母数は、内訳まで回答をしたかたの数としています。

		回答者数	構成比
就学前	幼稚園	3	37.5%
	保育園	4	50.0%
	認定こども園	1	12.5%
		8	
小学校	普通級	22	29.3%
	特別支援教室	17	22.7%
	特別支援学級	21	28.0%
	特別支援学校	28	37.3%
		75	
中学校	普通級(中学校)	3	17.6%
	特別支援教室(中学校)	1	5.9%
	特別支援学級(中学校)	7	41.2%
	特別支援学校(中学校)	6	35.3%
		17	
高校	普通高校	2	15.4%
	通信制高校	0	0.0%
	定時制高校	0	0.0%
	特別支援学校(高校)	11	84.6%
		13	

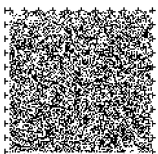
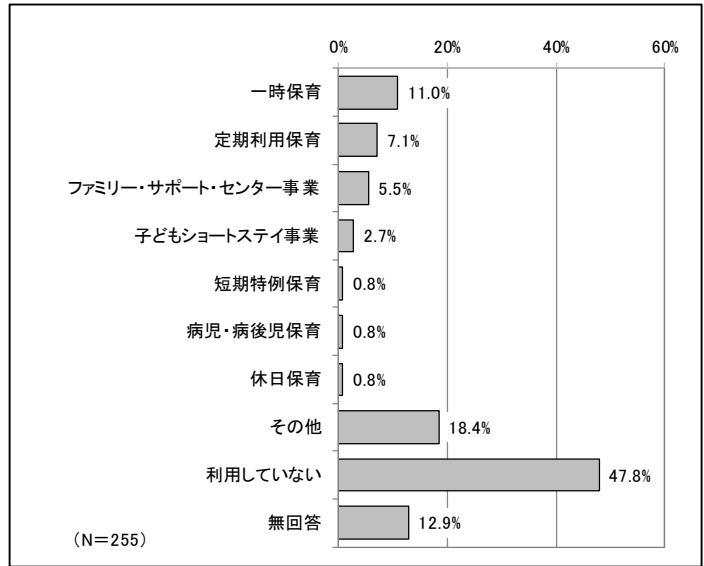
「小学校」については、複数回答をされたかたがいるため、合計値が100%を超えている。



(14) 今年度、利用した保育事業

問 11 今年度、利用した保育事業を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

今年度、利用した保育事業は、「利用していない」を除くと、「一時保育」が11.0%と最も多くなっています。



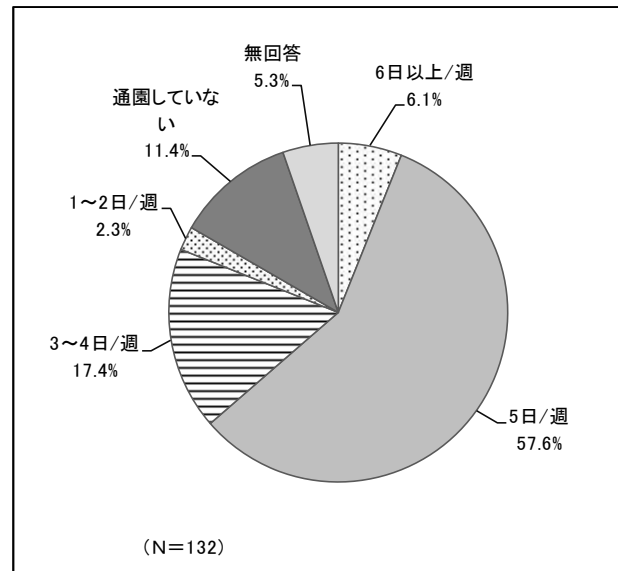
### 3 就学前のお子さんについて

#### (1) 幼稚園・保育園・認定こども園の通園頻度

問 12 幼稚園・保育園・認定こども園の通園頻度はどのくらいですか。(〇は1つ)

「5日/週」が57.6%

幼稚園・保育園・認定こども園の通園頻度は、「5日/週」が57.6%と最も多く、次いで「3～4日/週」が17.4%となっています。



#### (2) 幼稚園・保育園・認定こども園のことで困ったこと

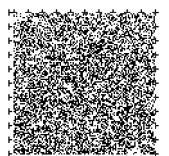
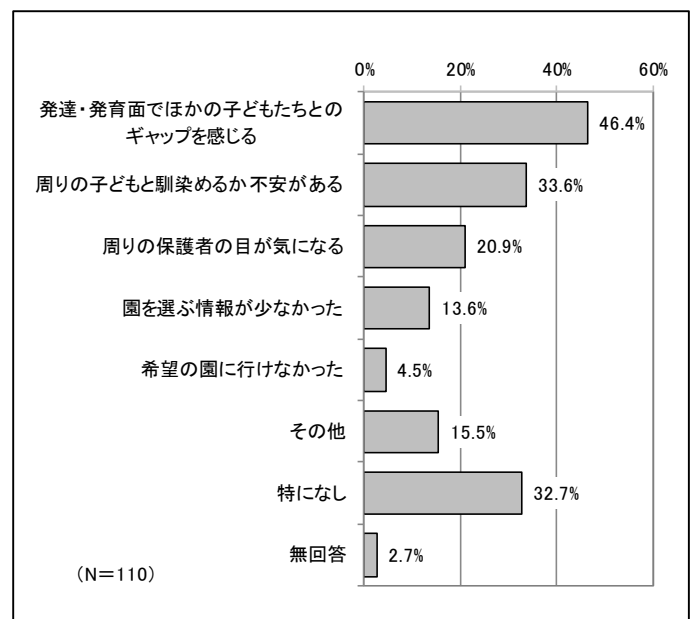
【問 12 で、「6日以上/週」「5日/週」「3～4日/週」「1～2日/週」と回答したかたのみ】

問 13 幼稚園・保育園・認定こども園のことで困ったことはありますか。(あてはまるものすべてに〇)

「発達・発育面でほかの子どもたちとのギャップを感じる」が46.4%

幼稚園・保育園・認定こども園のことで困ったことは、「発達・発育面でほかの子どもたちとのギャップを感じる」が46.4%と最も多く、次いで「周りの子どもと馴染めるか不安がある」が33.6%となっています。

「その他」としては、園の先生に対する不満という回答がありました。



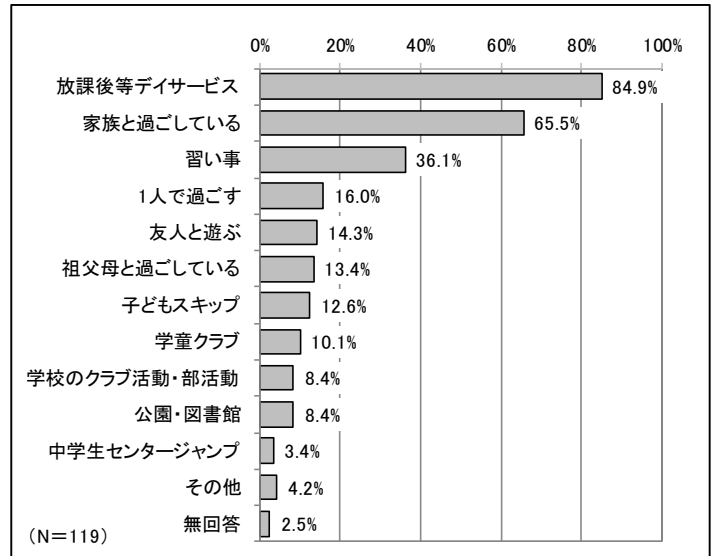
## 4 就学中のお子さんについて

### (1) 放課後や休日の過ごしかた

問 14 お子さんは放課後や休日はどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「放課後等デイサービス」が 84.9%

放課後や休日の過ごしかたは、「放課後等デイサービス」が 84.9%と最も多く、次いで「家族と過ごしている」が 65.5%となっています。

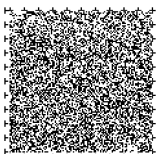
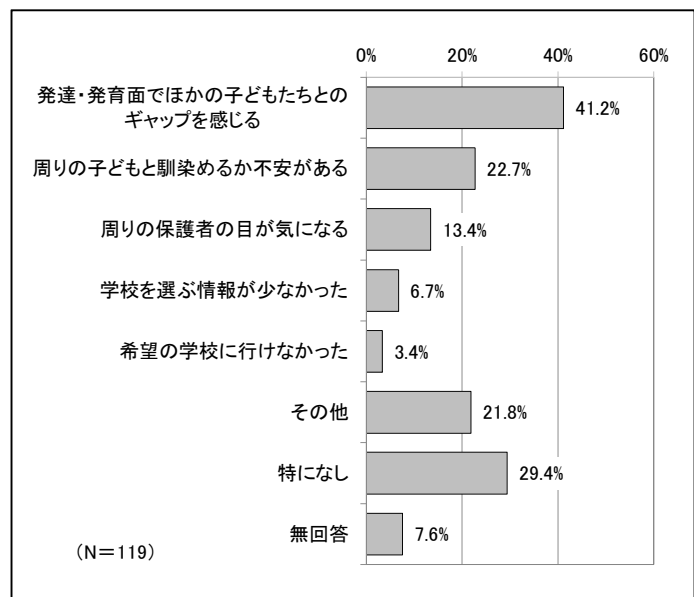


### (2) 学校のことで困ったこと

問 15 学校のことで困ったことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「発達・発育面でほかの子どもたちとのギャップを感じる」が 41.2%

学校のことで困ったことは、「発達・発育面でほかの子どもたちとのギャップを感じる」が 41.2%と最も多くなっています。



## 5 福祉サービスの利用や今後の利用

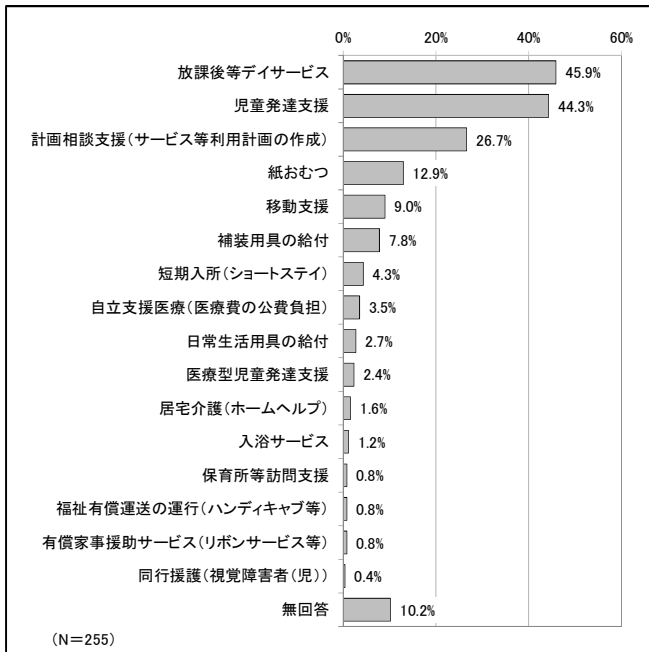
### (1) サービスの利用状況

問 16 あなたが現在利用しているサービス、今後利用したいサービスはありますか。(あてはまるものすべてに○)また、感じていることを自由意見欄にご記入ください。

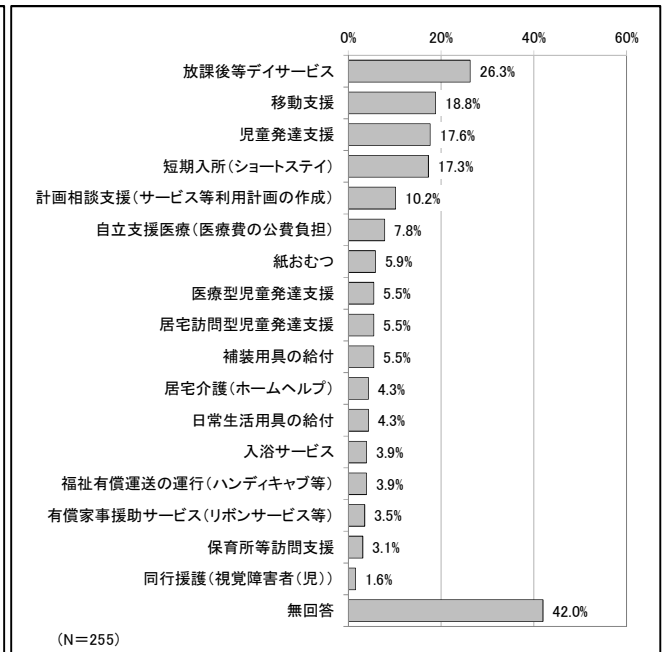
「現在利用しているサービス」は、「放課後等デイサービス」が 45.9%

「今後利用したいサービス」は、「放課後等デイサービス」が 26.3%

【現在利用しているサービス】

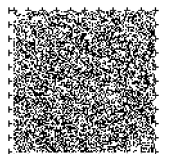


【今後利用したいサービス】



※以下は回答者 0 人のため未掲載:

「居宅訪問型児童発達支援」



Ⅶ 障害児調査

5 福祉サービスの利用や今後の利用

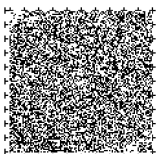
【年齢別】

＜現在利用しているサービス＞

サービス		回答者数	居宅介護 (ホームヘルプ)	短期入所 (ショートステイ)	同行援護 (視覚障害者(児))	児童発達 支援	医療型児 童発達支 援	居宅訪問 型児童発 達支援	保育所等 訪問支援	放課後等 デイサー ビス	移動支援
年齢	人数										
全体	人数	255	4	11	1	113	6	0	2	117	23
	構成比		1.6%	4.3%	0.4%	44.3%	2.4%	0.0%	0.8%	45.9%	9.0%
0～2歳	人数	15	0	0	0	14	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	93.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3～5歳	人数	117	0	2	1	89	6	0	2	7	0
	構成比		0.0%	1.7%	0.9%	76.1%	5.1%	0.0%	1.7%	6.0%	0.0%
6～11歳	人数	83	1	3	0	5	0	0	0	75	13
	構成比		1.2%	3.6%	0.0%	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.4%	15.7%
12～14歳	人数	19	0	3	0	3	0	0	0	17	3
	構成比		0.0%	15.8%	0.0%	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%	89.5%	15.8%
15～17歳	人数	17	3	3	0	0	0	0	0	16	7
	構成比		17.6%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	94.1%	41.2%
無回答	人数	4	0	0	0	2	0	0	0	2	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%

サービス		計画相談 支援(サー ビス等利 用計画の 作成)	入浴サー ビス	紙おむつ	補装用具 の給付	日常生活 用具の給 付	福祉有償 運送の運 行(ハン ディキャ ブ等)	有償家事 援助サー ビス(リポ ンサービ ス等)	自立支援 医療(医療 費の公費 負担)	無回答
年齢	人数									
全体	人数	68	3	33	20	7	2	2	9	26
	構成比	26.7%	1.2%	12.9%	7.8%	2.7%	0.8%	0.8%	3.5%	10.2%
0～2歳	人数	3	0	0	0	0	0	0	1	1
	構成比	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	6.7%
3～5歳	人数	17	1	15	8	2	0	0	1	14
	構成比	14.5%	0.9%	12.8%	6.8%	1.7%	0.0%	0.0%	0.9%	12.0%
6～11歳	人数	33	0	10	7	3	2	1	1	8
	構成比	39.8%	0.0%	12.0%	8.4%	3.6%	2.4%	1.2%	1.2%	9.6%
12～14歳	人数	8	0	4	2	0	0	1	0	1
	構成比	42.1%	0.0%	21.1%	10.5%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	5.3%
15～17歳	人数	7	2	4	3	2	0	0	6	1
	構成比	41.2%	11.8%	23.5%	17.6%	11.8%	0.0%	0.0%	35.3%	5.9%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字



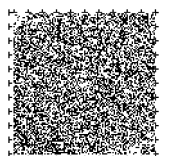


<今後利用したいサービス>

サービス		回答者数	居宅介護 (ホームヘルプ)	短期入所 (ショートステイ)	同行援護 (視覚障害者(児))	児童発達 支援	医療型児 童発達支 援	居宅訪問 型児童発 達支援	保育所等 訪問支援	放課後等 デイサー ビス	移動支援
年齢	人数										
全体	人数	255	11	44	4	45	14	14	8	67	48
	構成比		4.3%	17.3%	1.6%	17.6%	5.5%	5.5%	3.1%	26.3%	18.8%
0～2歳	人数	15	2	3	1	4	3	2	1	1	2
	構成比		13.3%	20.0%	6.7%	26.7%	20.0%	13.3%	6.7%	6.7%	13.3%
3～5歳	人数	117	2	11	1	30	6	8	7	41	18
	構成比		1.7%	9.4%	0.9%	25.6%	5.1%	6.8%	6.0%	35.0%	15.4%
6～11歳	人数	83	3	20	1	10	5	3	0	16	20
	構成比		3.6%	24.1%	1.2%	12.0%	6.0%	3.6%	0.0%	19.3%	24.1%
12～14歳	人数	19	1	5	1	1	0	1	0	6	5
	構成比		5.3%	26.3%	5.3%	5.3%	0.0%	5.3%	0.0%	31.6%	26.3%
15～17歳	人数	17	3	5	0	0	0	0	0	3	3
	構成比		17.6%	29.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%	17.6%
無回答	人数	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

サービス		計画相談 支援(サー ビス等利 用計画の 作成)	入浴サー ビス	紙おむつ	補装用具 の給付	日常生活 用具の給 付	福祉有償 運送の運 行(ハン ディキャ ブ等)	有償家事 援助サー ビス(リ ボンサー ビス等)	自立支援 医療(医療 費の公費 負担)	無回答
年齢	人数									
全体	人数	26	10	15	14	11	10	9	20	107
	構成比	10.2%	3.9%	5.9%	5.5%	4.3%	3.9%	3.5%	7.8%	42.0%
0～2歳	人数	1	2	3	4	3	2	0	4	6
	構成比	6.7%	13.3%	20.0%	26.7%	20.0%	13.3%	0.0%	26.7%	40.0%
3～5歳	人数	11	3	6	5	5	3	4	9	47
	構成比	9.4%	2.6%	5.1%	4.3%	4.3%	2.6%	3.4%	7.7%	40.2%
6～11歳	人数	5	4	3	3	2	4	4	3	34
	構成比	6.0%	4.8%	3.6%	3.6%	2.4%	4.8%	4.8%	3.6%	41.0%
12～14歳	人数	2	1	2	1	0	0	1	2	8
	構成比	10.5%	5.3%	10.5%	5.3%	0.0%	0.0%	5.3%	10.5%	42.1%
15～17歳	人数	7	0	1	1	1	1	0	2	8
	構成比	41.2%	0.0%	5.9%	5.9%	5.9%	5.9%	0.0%	11.8%	47.1%
無回答	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	構成比	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字



## Ⅶ 障害児調査

### 5 福祉サービスの利用や今後の利用

#### <各サービスに対して、いただいた主なご意見>

##### ア 居宅介護（ホームヘルプ）

- ・慢性的に人手不足である。個人スキル等にギャップがある。

##### イ 短期入所（ショートステイ）

- ・施設が近くにない。
- ・将来のために、少しずつ利用し、本人が家以外のところに泊まる訓練をしたい。

##### エ 児童発達支援

- ・先生がよく変わったり、経営が変わったりとまどう。
- ・療育の時間的に送迎をすると就労が難しい。
- ・受給者証は支給されているが、施設の空きがない。
- ・子供の特性について理解が深まり、対応できるようになった。子供も生活しやすくなったと思う。

##### ク 放課後等デイサービス

- ・延長利用ができる事業所が少ないように思う。親の仕事を考えると19時くらいまで預かっていただけると利用しやすい。
- ・現在行っている療育先に送迎がないので保護者の負担が大きい。
- ・今ちょうど探している最中だが情報が少ない。空きがない所が多い。
- ・大変助かっています。本人も楽しく利用。

##### ケ 移動支援

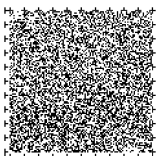
- ・ヘルパーがなかなか確保できず利用日を増やせない。
- ・他の区には幼児の移動支援があるのに、豊島区にはない。双子なので死活問題。
- ・ヘルパーさんとの外出が楽しく、本人の成長につながっていて、とてもありがたい。ヘルパーさんがもっと増えるように願っている。

##### コ 計画相談支援（サービス等利用計画の作成）

- ・どこも混んでいて、まだセルフの状態、早く事業所を探さなければと思っている。
- ・この制度を使っただいぶん楽になりました。

##### ソ 福祉有償運送の運行（ハンディキャブ等）

- ・本人単独での外出ができない為、ヘルパーさんが見つからない場合に備えて、また、地域で生きるという意味でも利用できると思います。



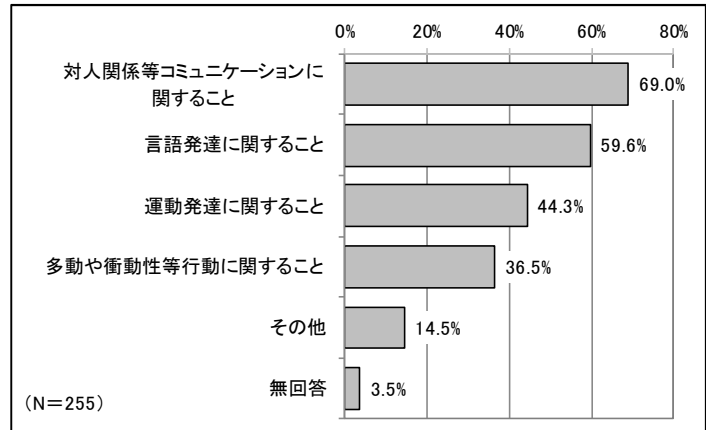
## (2) 児童通所を必要とする理由

問 17 児童通所(児童発達支援・医療型児童発達支援・居宅訪問型児童発達支援・保育所等訪問支援・放課後等デイサービス)を必要とする理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「対人関係等コミュニケーションに関すること」が 69.0%

児童通所を必要とする理由は、「対人関係等コミュニケーションに関すること」が69.0%と最も多く、次いで「言語発達に関すること」が59.6%となっています。

「その他」としては、放課後の居場所、学習支援という回答がありました。



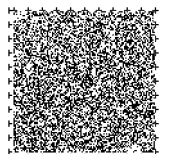
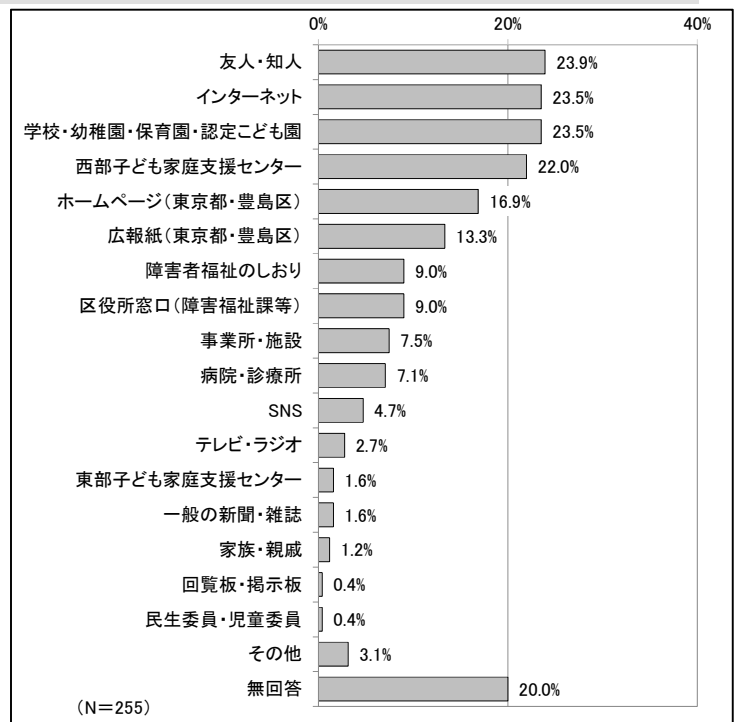
## 6 福祉に関する相談や情報

### (1) 福祉に関する情報の入手手段

問 18 健康や福祉に関する情報をどこから得ていますか。(あてはまるもの3つまで○)

「友人・知人」が 23.9%

福祉に関する情報の入手手段は、「友人・知人」が23.9%と最も多く、次いで「インターネット」「学校・幼稚園・保育園・認定こども園」が23.5%となっています。



(2) よく利用する相談窓口

問 19 よく利用する相談窓口はどこですか。(○は1つ)

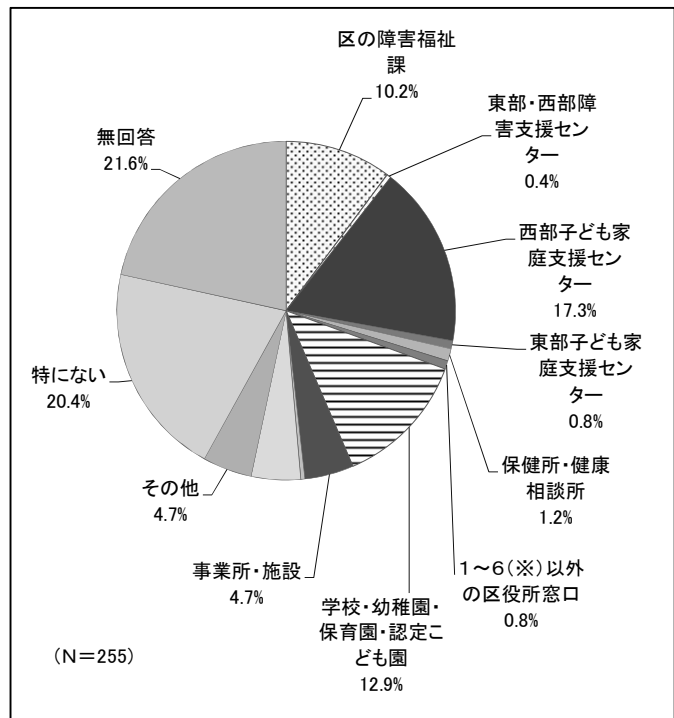
「西部子ども家庭支援センター」が 17.3%

よく利用する相談窓口は、「西部子ども家庭支援センター」が 17.3%と最も多く、次いで「学校・幼稚園・保育園・認定こども園」が 12.9%となっています。

(※) 選択肢 1 は「区の障害福祉課」、選択肢 2 は「豊島区立心身障害者福祉センター」、選択肢 3 は「東部・西部障害支援センター」、選択肢 4 は「西部子ども家庭支援センター」、選択肢 5 は「東部子ども家庭支援センター」、選択肢 6 は「保健所・健康相談所」

※以下は回答者 0 人のため未掲載：

「豊島区立心身障害者福祉センター」、「社会福祉協議会」



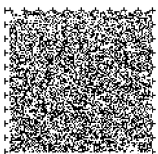
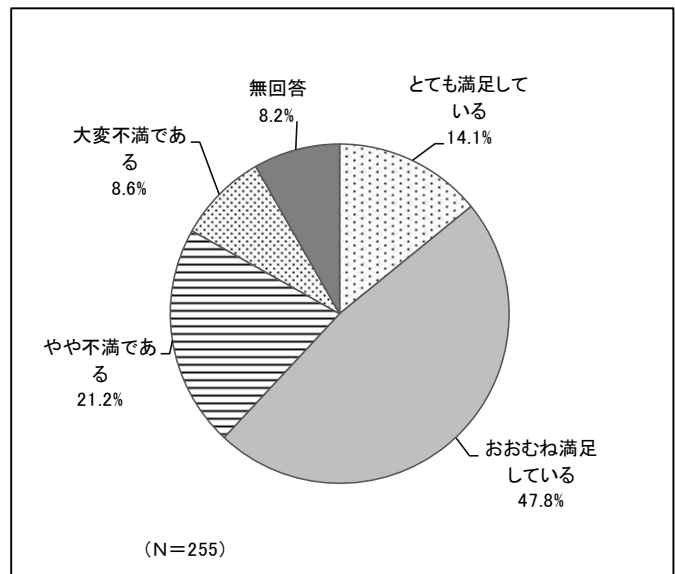
(3) 相談対応の満足度

問 20 相談窓口について満足していますか。(○は1つ)

《満足》が 61.9%、《不満》が 29.8%

相談対応の満足度は、「おおむね満足している」が 47.8%と最も多く、次いで「やや不満である」が 21.2%となっています。

「とても満足している」が 14.1%、「おおむね満足している」が 47.8%、両者を合わせた《満足》は 61.9%となっています。一方、「やや不満である」が 21.2%、「大変不満である」が 8.6%であり、両者を合わせた《不満》は 29.8%となっています。



#### (4) 不満を感じる理由

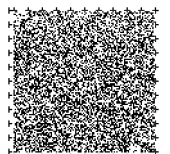
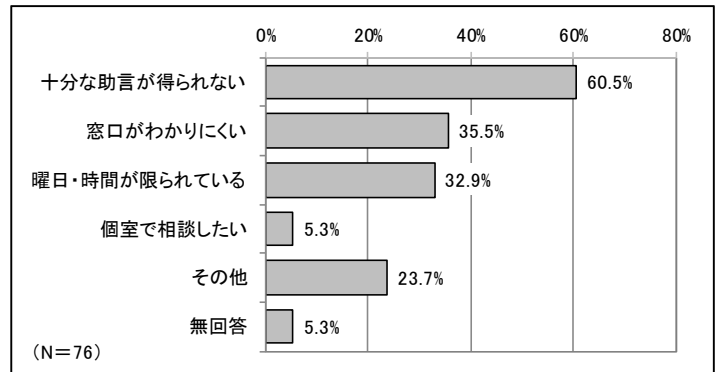
【問 20 で、「やや不満である」「大変不満である」と回答したかたのみ】

問 20-1 不満な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「十分な助言が得られない」が 60.5%

不満を感じる理由は、「十分な助言が得られない」が 60.5%と最も多く、次いで「窓口がわかりにくい」が 35.5%となっています。

「その他」としては、場所が遠い、担当者の対応能力の違いという回答がありました。



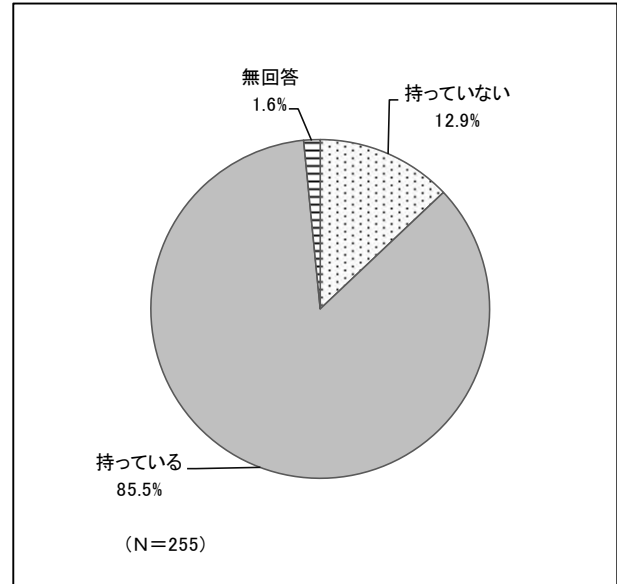
## 7 病気や医療について

### (1) かかりつけ医の有無

問 21 お子さんは地域でかかりつけ医をお持ちですか。(〇は1つ)

「持っている」が 85.5%

かかりつけ医の有無は、「持っている」が 85.5%、「持っていない」が 12.9%となっています。



### (2) かかりつけ医を持っていない理由

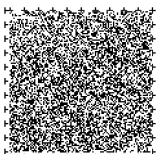
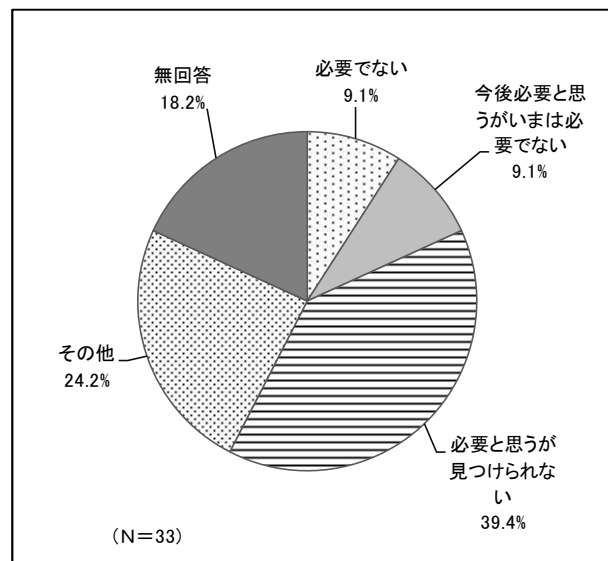
【問 21 で、「持っていない」と回答したかたのみ】

問 21-1 持っていない理由はなんですか。(〇は1つ)

「必要と思うが見つけれない」が 39.4%

かかりつけ医の有無は、「必要と思うが見つけれない」が 39.4%と最も多くなっています。

「その他」としては、信頼できる小児科がない、昨年まであったところが閉所してしまった、子どもに症状を話しておらず気づかれたくないためという回答がありました。

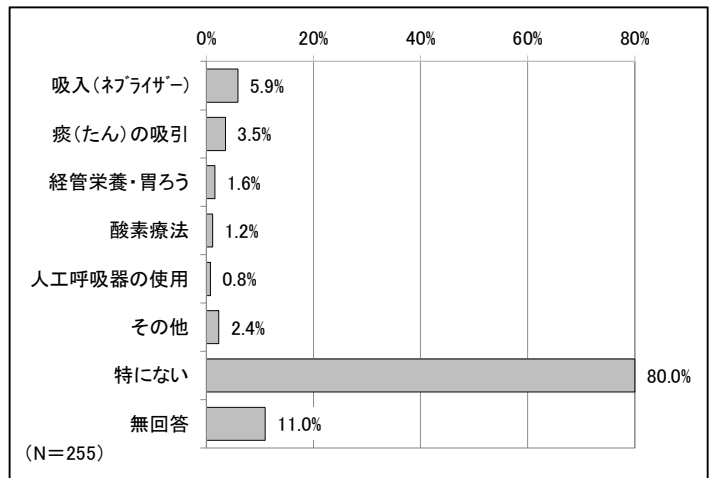


### (3) 医療処置の有無

問 22 お子さんは、医療処置を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

受けている処置は、「吸入（ネブライザー）」が 5.9%

医療処置の有無は、「特にない」を除くと、「吸入（ネブライザー）」、「痰（たん）の吸引」の順に多くなっています。

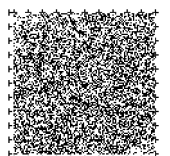
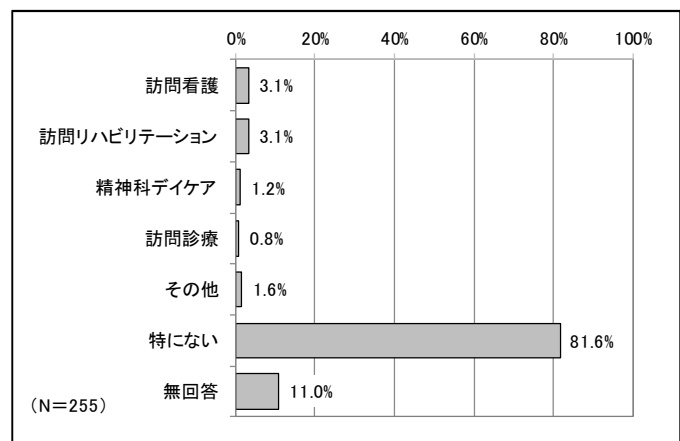


### (4) 医療保険サービスの利用状況

問 23 お子さんは、医療保険サービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

受けているサービスは、「訪問看護」、「訪問リハビリテーション」が 3.1%

医療保険サービスの利用状況は、「特にない」を除くと、「訪問看護」、「訪問リハビリテーション」となっています。



## 8 外出の状況

### (1) 普段の移動手段

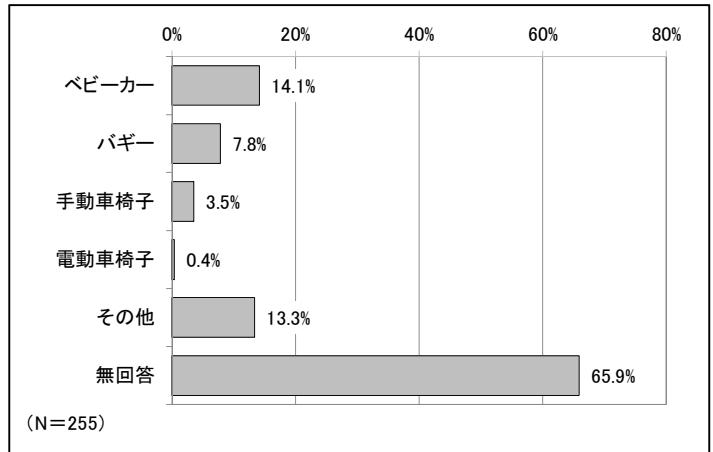
問 24 お子さんが普段移動に使っているものを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「ベビーカー」が 14.1%

普段の移動手段は、「ベビーカー」が 14.1% と最も多く、次いで「バギー」が 7.8% となっています。

「その他」としては、徒歩（特に移動器具は使っていない）という回答が多くありました。

年齢別でみると、5歳以下は「ベビーカー」、6歳以上は「手動車椅子」、「バギー」が多くなっています。



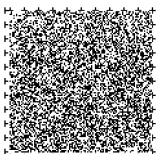
※以下は回答者 0 人のため未掲載:

「歩行器」、「杖」

### 【年齢別】

年齢	移動手段		電動車椅子	手動車椅子	バギー	歩行器	杖	ベビーカー	その他	無回答
	回答者数	構成比								
全体	人数	255	1	9	20	0	0	36	34	168
	構成比		0.4%	3.5%	7.8%	0.0%	0.0%	14.1%	13.3%	65.9%
0~2歳	人数	15	0	0	3	0	0	12	1	1
	構成比		0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	80.0%	6.7%	6.7%
3~5歳	人数	117	0	0	9	0	0	23	15	76
	構成比		0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	19.7%	12.8%	65.0%
6~11歳	人数	83	0	5	5	0	0	1	13	63
	構成比		0.0%	6.0%	6.0%	0.0%	0.0%	1.2%	15.7%	75.9%
12~14歳	人数	19	0	2	2	0	0	0	3	13
	構成比		0.0%	10.5%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	15.8%	68.4%
15~17歳	人数	17	1	2	1	0	0	0	1	12
	構成比		5.9%	11.8%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	70.6%
無回答	人数	4	0	0	0	0	0	0	1	3
	構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	75.0%

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字



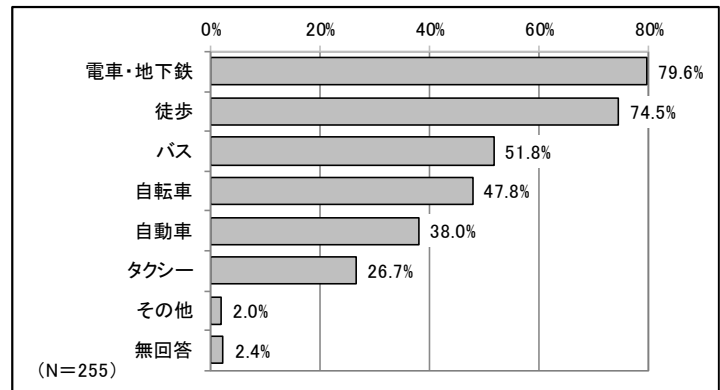


## (2) 普段利用する交通手段

問 25 お子さんが普段利用する交通手段を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「電車・地下鉄」が 79.6%

普段利用する交通手段は、「電車・地下鉄」が 79.6%と最も多く、次いで「徒歩」が 74.5%となっています。

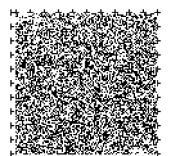
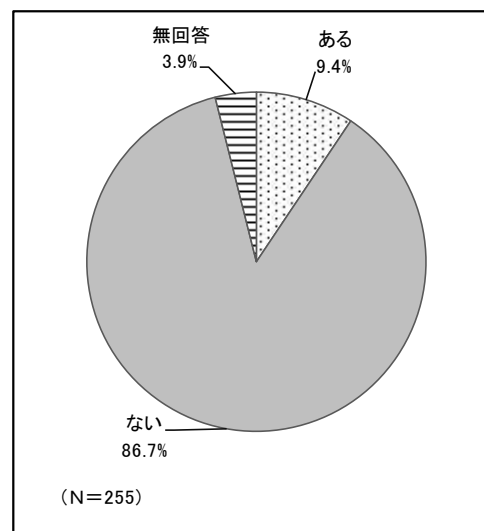


## (3) 外出時にけがをした経験

問 26 お子さんがこの 1 年以内に、外出時「医療機関を受診したけが」をしたことはありますか。(○は1つ)

「ある」が 9.4%

外出時にけがをした経験は、「ない」が 86.7%、「ある」が 9.4%となっています。



(4) けがをした理由

【問 26 で、「ある」と回答したかたのみ】

問 26-1 「けが」をした理由はなんですか。(あてはまるものすべてに○)

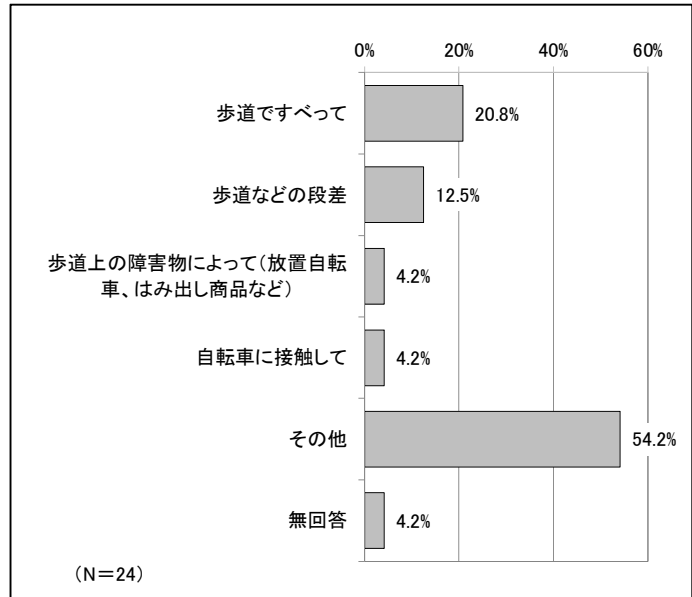
「歩道ですべて」が 20.8%

けがをした理由は、「歩道ですべて」が 20.8%と最も多く、次いで「歩道などの段差」が 12.5%となっています。

「その他」としては、エスカレーターで転倒という回答がありました。

※以下は回答者 0 人のため未掲載:

「通行人にぶつかって」、「自動車・バイクに接触して」



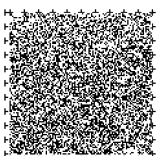
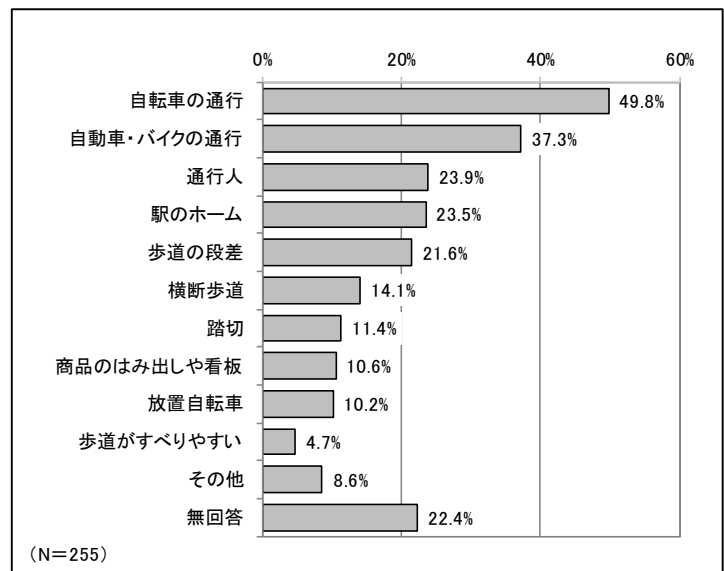
(5) 外出時に危険を感じたこと

問 27 最近、外出時に危険を感じたことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「自転車の通行」が 49.8%

外出時に危険を感じたことは、「自転車の通行」が 49.8%と最も多く、次いで「自動車・バイクの通行」が 37.3%となっています。

「その他」としては、スマートフォンを操作しながらの歩行、自転車運転、歩きたばこという回答がありました。

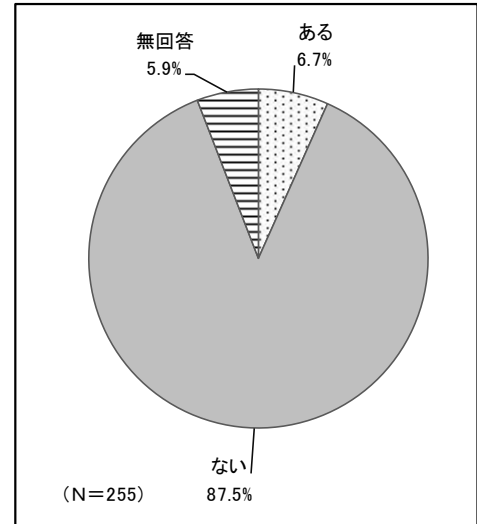


(6) 自宅内でけがをした経験

問 28 お子さんがここ1年以内に、自宅内で「医療機関を受診したけが」をしたことがありますか。(○は1つ)

「ない」が87.5%

自宅内でけがをした経験は、「ない」が87.5%、「ある」が6.7%となっています。



(7) けがをした自宅の場所

【問 28 で、「ある」と回答したかたのみ】

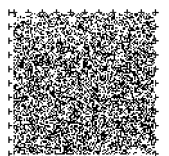
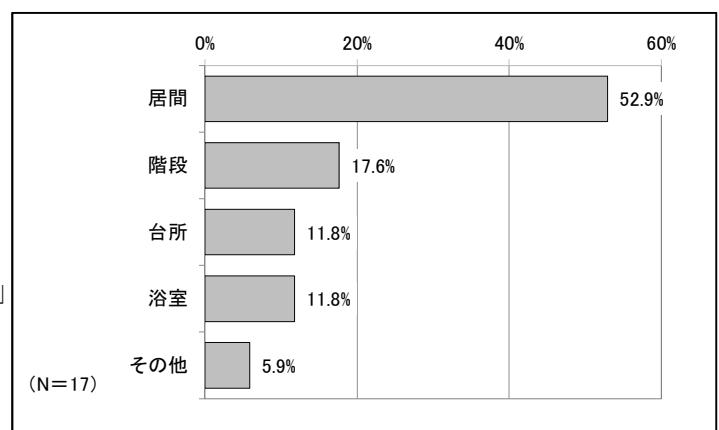
問 28-1 けがをした場所は、どこですか。(あてはまるものすべてに○)

「居間」が52.9%

けがをした自宅の場所は、「居間」が52.9%と最も多く、次いで「階段」が17.6%となっています。

※以下は回答者0人のため未掲載:

「玄関」、「寝室」、「ベランダ」、「庭」、「無回答」

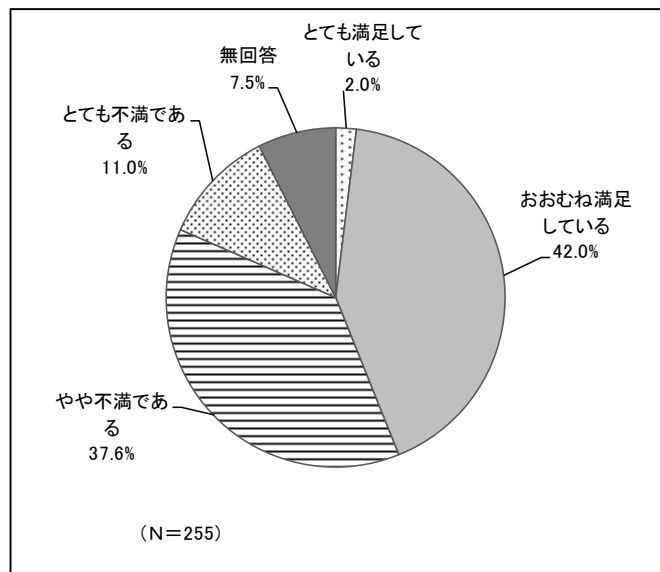


### (8) まちのバリアフリーについての満足度

問 29 まちのバリアフリーについて満足していますか。(○は1つ)

《満足》は 44.0%、《不満》は 48.6%

まちのバリアフリーについての満足度は、「とても満足している」が 2.0%、「おおむね満足している」が 42.0%で、両者を合わせた《満足》は44.0%となっています。一方、「やや不満である」は 37.6%、「とても不満である」は 11.0%、両者を合わせた《不満》は 48.6%となっています。



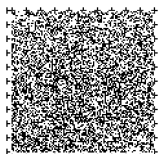
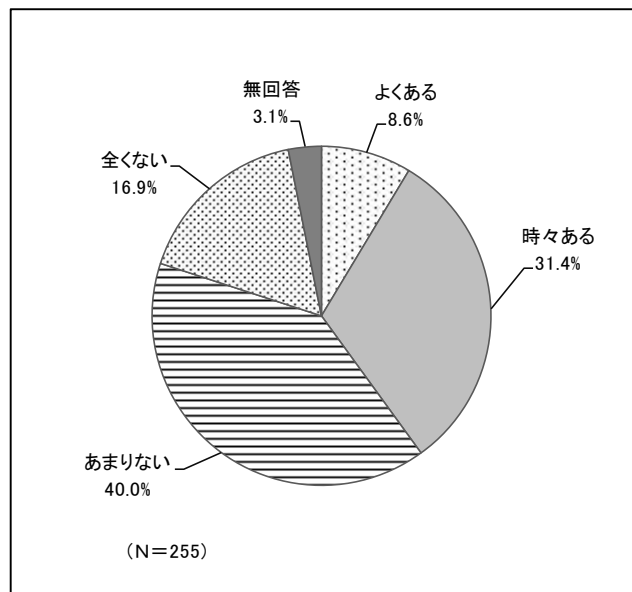
## 9 障害者の権利

### (1) 障害者への差別を感じること

問 30 これまでに障害や病気を理由として差別をされたと感じたことはありますか。

《ある》は 40.0%、《ない》は 56.9%

障害者への差別を感じることは、「よくある」は 8.6%、「時々ある」は 31.4%で、両者を合わせた《ある》は40.0%となっています。一方、「あまりない」は 40.0%、「全くない」は 16.9%、両者を合わせた《ない》は 56.9%となっています。



具体的な内容があればご記入ください。

【具体的な内容（いただいた主なご意見）】

●保育施設、保育サービス等で

- ・1才児から通っていた近所の一時保育で、2才をすぎて愛の手帳を取得したとたん、通園を拒否された。それまで園側は特に問題なく保育できている、と言っていたのに“障害者”と認定されたら保育できないと言われてしまった。
- ・保育園で遠回しな差別を受ける。加配が必要であるため、夏期(お盆)に休みを求められた。設定されている保育時間いっぱい預けられない。

●幼稚園で

- ・受け入れてくれる幼稚園が地元の一つしかなかった。人手不足を理由として拒否された。
- ・幼稚園入園の際、腹膜透析リスク管理の責任が持てないという理由でいくつかの園に断られ、それまで周囲の友達とふつうに遊んでいましたが、初めて「障害」を意識し、障害は社会がつくるのだと実感しました。

●学校で

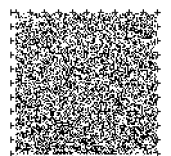
- ・小学校入学は、支援級希望だったが、すんなりとは入れなかった。
- ・学校でも十分な教育(主に学習)をできる機会を考えられていない。

●病院、公共施設等で

- ・子どもがじっとして診察できないので仕方がないのだが、危険ということで耳鼻科の診察を断われた。
- ・十分な情報保障がなされていない。区の主催の子ども向けイベントで手話通訳があるものが無い。聴こえない子への配慮がなさすぎると思う。

●社会で

- ・外出時に他の人からじろじろ見られたり、避けられたりする。
- ・体が大きくなっても言葉は話せなくて色々わかってきて自我も出てきたため、思春期に入りパニックや怒りだすこともあり、そんなときしかたなくエレベーター(駅の)などにのると、大きくて足も動くのに何で乗るのかというような顔をされ見られた。
- ・希望する習い事に入会出来なかった。
- ・すべてのかたに発達障害の知識があるわけではないので、しかたがないと思っている。ただ公共の場での、子どもの癩癩は、非常に肩身が狭い。
- ・まだ小さく(3才)経験はないが、これから先はあると思うと悲しく辛い気持ちになってしまう。親の心のケア…絶対必要です。ふと心が打ちのめされる。毎日毎日頑張り続けている…。自閉症と診断される前から親は苦しみつづけている。診断されたあと、1人でもがき苦しむ。子に手をかけてしまう気持ちはよくわかる。今後診断されたかたには次の日には心理のケアやケースワーカーや先輩ママさんが家庭訪問し「皆で支える。一緒に歩みましょう」とあつたら少しは良いのに…と思います。ぜひ豊島区は心に寄り添う支援を心よりお願いします。



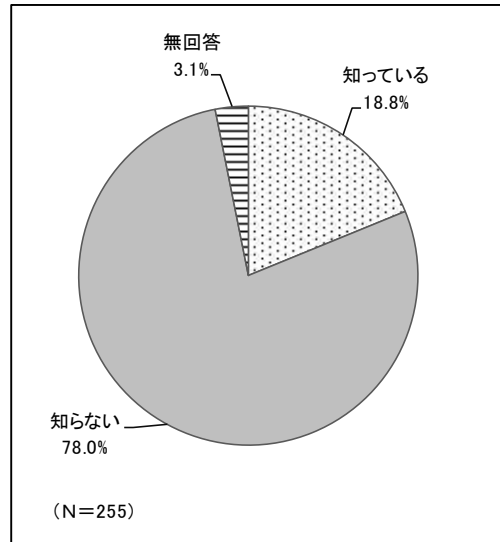
## 10 防災の意識・対策

### (1) 豊島区障害者防災の手引きの認知度

問 31 あなたは「豊島区障害者防災の手引き」を知っていますか。(○は1つ)

「知らない」が 78.0%

防災の手引きを知っているかについては、「知らない」が 78.0%、「知っている」が 18.8%となっています。



### (2) 区の防災対策の認知度

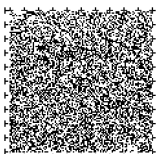
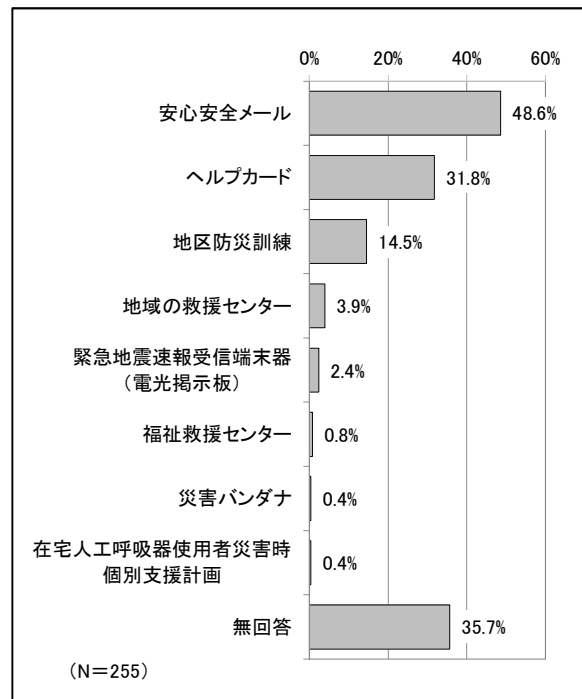
問 32 豊島区が行っている以下の防災対策であなたが知っていること、場所は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「安心安全メール」が 48.6%

区の防災対策の認知度は、「安心安全メール」が 48.6%と最も多く、次いで「ヘルプカード」が 31.8%となっています。

※以下は回答者 0 人のため未掲載:

「その他」

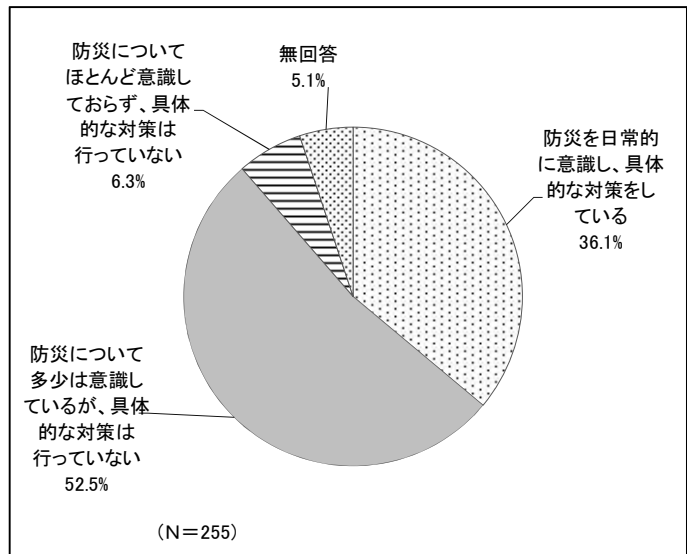


### (3) 日常的な防災意識と防災対策の実施状況

問 33 あなたは日常的に防災を意識し、何か対策を行っていますか。(○は1つ)

「防災について多少は意識しているが、具体的な対策は行っていない」が52.5%

日常的な防災意識と防災対策の実施状況は、「防災について多少は意識しているが、具体的な対策は行っていない」が52.5%と最も多く、次いで「防災を日常的に意識し、具体的な対策をしている」が36.1%となっています。



### (4) 具体的に行っている準備

【問 33 で「防災を日常的に意識し、具体的な対策を行っている」と回答したかたのみ】

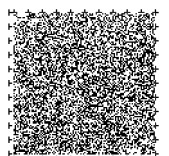
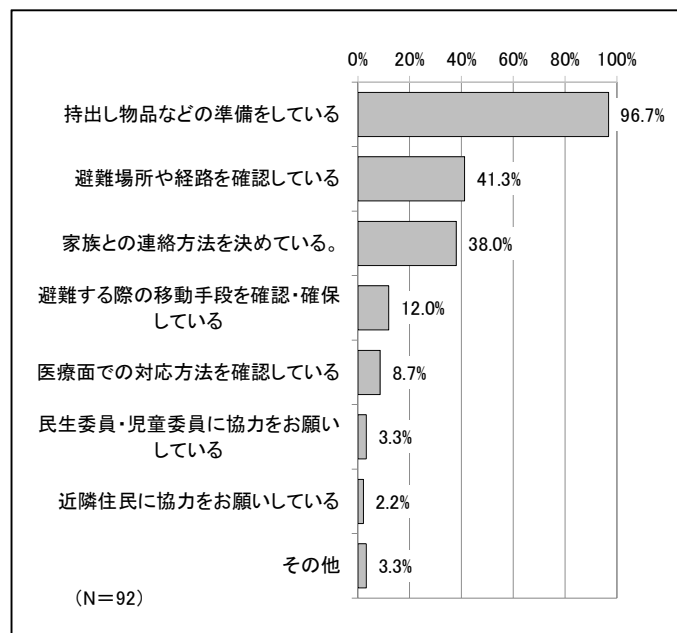
問 33-1 災害時を想定し、あなたは具体的にどのような準備をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「持出し物品などの準備をしている」が96.7%

具体的に行っている準備は、「持出し物品などの準備をしている」が96.7%と最も多く、次いで「避難場所や経路を確認している」が41.3%となっています。

※以下は回答者0人のため未掲載:

「無回答」



(5) 災害時を想定した対応方法に対する安心感の有無

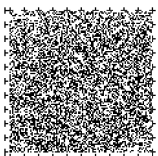
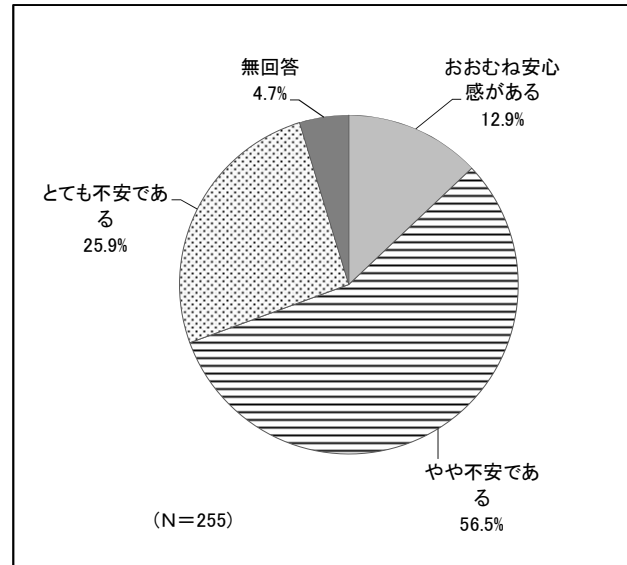
問 34 あなたは災害時を想定した対応方法について、安心感がありますか。(○は1つ)

《不安》が 82.4%

災害時を想定した対応方法に対する安心感  
は、「やや不安である」が56.5%と最も多く、  
次いで「とても不安である」が 25.9%とな  
っています。両者を合わせた《不安》は  
82.4%となっています。

※以下は回答者 0 人のため未掲載:

「とても安心感がある」



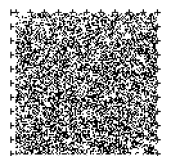
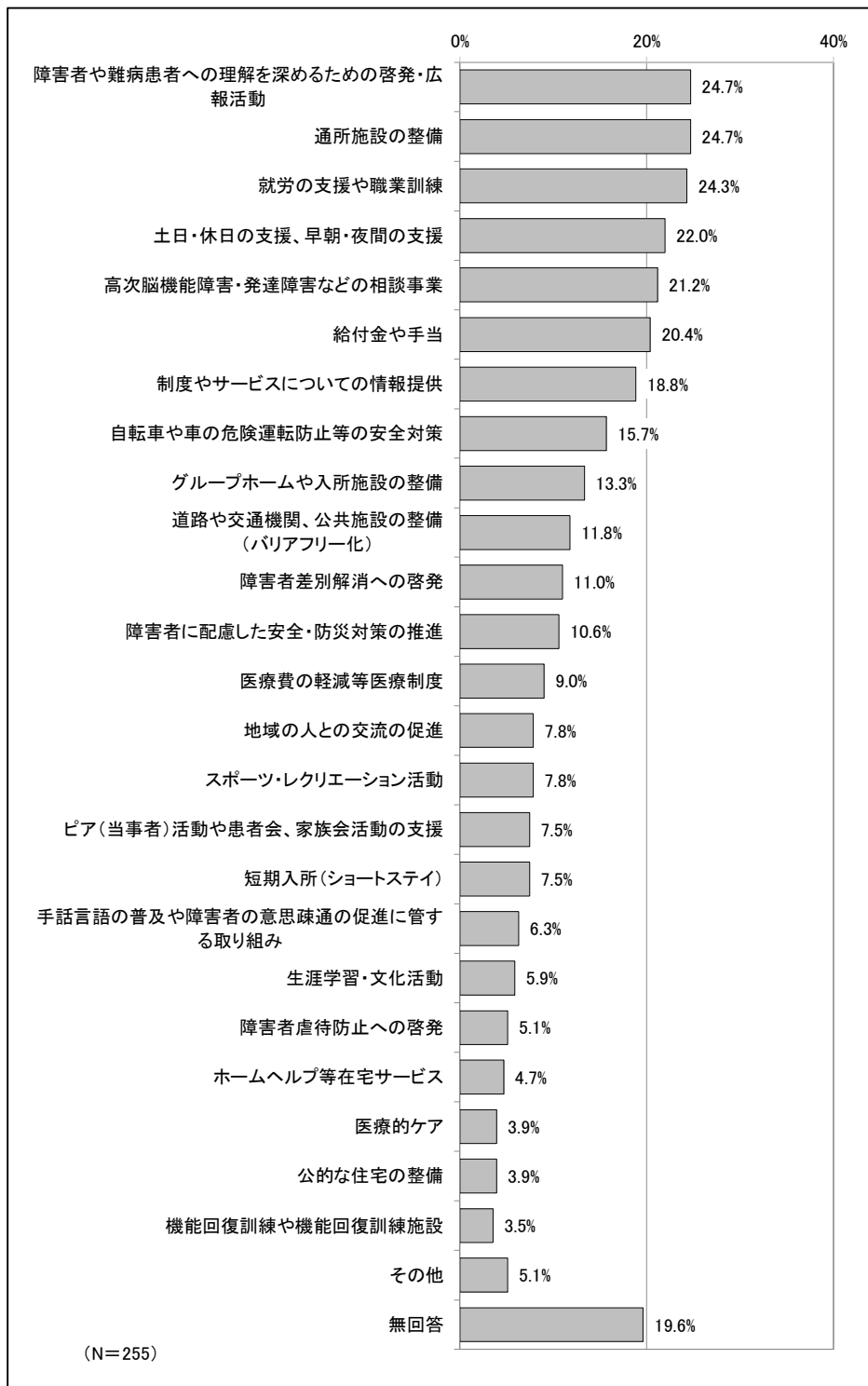


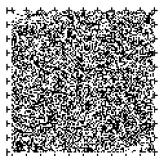
## 11 豊島区の今後のありかたについて

問 35 今後豊島区の地域での取り組みで重要だと思うことは何ですか。(あてはまるもの5つまで○)

「障害者や難病患者への理解を深めるための啓発・広報活動」「通所施設の整備」が 24.7%

取り組みで重要だと思うことは、「障害者や難病患者への理解を深めるための啓発・広報活動」「通所施設の整備」が 24.7%と最も多く、次いで「就労の支援や職業訓練」が 24.3%となっています。





## VIII 事業所調査

